



第15号

本紙は、石巻市内の仮設住宅および市街地の復興公営住宅向けに発行・配布する無料情報紙です。毎月10日発行。

輪になって踊りゃ みんな心もまるくなる 故郷の踊りを復元!! 大川音頭



♪ハーエ 踊り見るなら ヨホイノセ 大川村に 娘揃って ナードッコイシヨ 花ざかり ソレヨイヨイ ヨイヤサット 輪になって踊りゃ

まるくなるー♪ みんな心も お盆が終わる8月16日、河北総合センタービッグバンに、民謡歌手・佐々木律子さんの歌声が響きました。歌

出身の阿部文子さん。「歌が好きなおばあさんだったから、歌って聴かせてくれたんだと思うのね。だから節回しは何となく知っていただけ、踊ったこ

「大川音頭は、いま60代の私が子どもの頃、おばあさんが歌ってくれた歌なのよ。その話は、今回は、大川音頭の復元に参加した釜谷地区

とはなくて。私の周りでも知らない人の方が多いいんじゃないかな」 そんな大川音頭を復元するきっかけになったのは、2013年3月に開催された大川ふるさと祭り。震災後に大川地区に支援に入っていた団体が主催したお祭りですが、「せっかくだから、地元住民として何かやろう」という声が上がって、大川音頭を復元する話が出てきたといいます。「歌詞は図書館で調べることができたんだけど、肝心の振付が分からなくて。そんなとき、娘が『大川音頭、知ってるよ。こうでしょ?』と踊り始めたんです。なんと、当時30代の娘さんが小学生のとき、運動会で踊った大川音頭を覚えていたのです。「娘の少し上や下の代に聞いても記憶にないと言

と踊り継がれていたというわけでもなく、たまたまその代だけだったようです」。文子さんの少し上の年代にも、ところどころ振付を覚えていた方々がいて、何とか披露することができました。そして今回、大川地区の震災前の街並みを模型で復元する「大川地区『記憶の街』模型復元プロジェクト」の開催に合わせ、再度「大川音頭」を復元・披露しようという話を持ちあがりました。仮設

住宅の集会所で練習会を行ない、個々人で違っていた振付の細かい部分をすり合わせ、より多くの人々が踊れるようにと動画に撮って共有しました。そして迎えた当日、地域の住民と、模型復元プロジェクトに参加する県外の学生たちが一緒に踊り、まさに「みんな心も丸くなる」ひとときになりました。地区のほとんどが災害危険区域に指定され、もう人が住むことができない大川地区で

は、今月末から、上品の郷の向かいにできる防災集団移転地「二子団地」への移転が始まります。「今後は大川地区のお祭りではなく、二子団地としてのお祭りになっていくのでしようが、復元した大川音頭をこれからも踊り継いでいきたいと思っています」 地域に伝わる歌と踊りが、これからも住民の心をひとつにして前に進む活力になるよう願ってやみません。(きずな新聞 あき)

大川音頭 歌詞全文

川 大川 長津浦

- 1)ハーエ 踊り見るなら ヨホイノセ 大川村に 娘揃って ナードッコイシヨ 花ざかり (繰り返し)ソレヨイヨイ サット 輪になって踊りゃ みんな心もまるくなる
2)春は萌黄の 針岡沼に わしが釣るのは 釣るのは 鯉ばかり
3)二人揃って 尾の崎橋に 影も涼しい 涼しい 夏の月
4)わしが釜谷の 観音様へ 拝みや 果報の 果報の 花が咲く
5)硯上お山は 宝の山よ 裾に大
6)弘象山から どの島みても 絵にもかきたい 島ばかり
7)釣りで名所の 大川村に 客がぞろぞろ ぞろぞろ 恵比寿顔
8)縁起あらたな 小鋭(おどの)の 神は 村を福地に 福地に 有難や
9)後生願いに 道はるばると いる横川 横川 如来様
10)虹がかかると 釜谷の里に 色まじり 色まじり 村しぐれ
※2番以降、囃子詞(ハーエ、ヨホイノセなど)は省略して記載して



第16回 認知症

たかやん) ごぶさたして
います! からころ
ドクターの時間です。
今回の質問はこちら。

実家の祖母の様子が変
です。なにやら本人に
しか見えない人たちが
騒いでいるとか、「お
金を取られた」「調味
料を持って行かれた」
などと言います。また、
落ち着きがなくなり、
騒ぐこともあって家族
が困っています。認知
症ではないかと思うの
ですが、何科の病院に
行けばいいのかわらな
い。接すればいいのか悩
んでいます。教えてくだ
さい。(30代主婦)

たかやん)なるほど、
認知症にかかわる質問
ですね。ドクター、お
願いします。ごぶさ
た(ドクター)ごぶさたじ
やったのう! 認知症

は誰しにも起こりうる
ぞ。じやが認知症と判
断する前に、まずは体
の病気がないかを調べ
る必要があるのう。軽
い脱水などでも精神症
状(幻覚・錯覚など)
を引き起こすことがあ
るのじや。かかりつけ
医や内科の先生に相談
し、体のチェックを受
けてもらおう。体に問
題がなければ、神経内
科で脳をチェックして
もらうんじや。その際
に、記銘力検査と長谷
川式簡易知能検査とい
う検査をしてもらい、
記憶障害がないか見て
もらってほしい。

記銘力(新しく体験
したことを覚える能
力)や知能に問題があ
れば、幻覚を伴う認知
症と考えられる。その
場合は、同時にパーキ
ンソン症候群(前かが
みで手を振らない歩行
姿勢、手の指の振え、
よだれなどが特徴的な
症状)がないかどうか
を先生に見てもらおう
としたいのう。その症状
があれば、「レビー小体
型認知症」という認知
症と考えられるのじ
や。また記憶障害・知
能障害がみられるが、
パーキンソン症候群が
みられないときは「ア
ルツハイマー型認知
症」などに幻覚妄想状
態が併発したものと考
えられる。

記銘力や知能に問題
がない一方で幻覚がみ
られるなら、認知症で
はなく、老年期の幻覚
妄想状態といわれる症
状の場合もあるのじ
や。その場合は精神科
を受診するといいい。
いづれにしても、病
院の受診を本人がいや
がる場合も多いから、
そのときはからころや
市役所の保健師さん、
地域包括支援センター
などを活用して、相談
に乗ってもらおうのがよ
いな。家族は物事を否
定せず聞き、落ち着く
ように優しく接するこ
とが大切じやな。

たかやん) 認知症の特
別支援チームなどもあ
りますし、からころ
でもご家族の相談も受
け付けています。どう
ぞ家族だけで悩まない
で、色々相談してくだ
さい! ではまた!
(からころ たかやん)

●からころ相談電話
0120-822-016
(毎日10時~16時まで)



北上の青山です。天
候が安定しない日が続
きましたか? どんな夏
でしたか? この夏
は、北上でもイベント
が盛りだくさんです
が、雨の影響を受けて
しまったものもありま
すが、その様子を少し
レポートします。

北上の青山です。天
候が安定しない日が続
きましたか? どんな夏
でしたか? この夏
は、北上でもイベント
が盛りだくさんです
が、雨の影響を受けて
しまったものもありま
すが、その様子を少し
レポートします。

肌寒く、客足は伸びま
せんでした。子どもも
ちの期待も大きいです
し、本格オーブンする
来年の天候に期待した
いとこです。8月13日
3年ぶりに十三夏祭
りも開催されました。
震災後に始まった交流
が深められたほか、地
域を離れた人も集うお
祭りとなりました。お
祭りと花火が打ち
上げられ、間近では
ちける花火を多くの人
が堪能しました。お
盆の行事が活送迎やお
盆の一部が参加でき
は一人の参加が伝
せんたちから参加し
た人たちから参加し
えんと、どちらか笑い
顔あふれる素晴らしい
イベントだったように
す。天気はよく、人
出も増え、企画した人
も喜びました。住民手
タツツの方々も思いま
すが、人の数ではな
い笑顔の度々見れば、
笑顔の度々見れば、
百点満点だったのでは
ないでしょうか。

昔の地区祭りと、
新たなコミュニティ
私たちがまだ小学生だ
昭和50年代前半まで
は、北上のほとんどの
地区ごとに盆踊りや芸
能大会がありました。
能楽が少なかった当
時も、特に芸能大会は
子どもにも楽しみなイ
ベントでした。普段は
ごく普通の様子の人も
衣装を着て化粧を施
し、芸能人張りの歌や
踊りを披露していまし
た。滑稽な漫才のよう
なものも披露する人も
いるなど、地区には工
ンターテイナーが大勢
いました。観客席から
は、お酒の酔いも手伝
り、陽気な合の手が入
り、気な合の手が入
の覚えています。50年
代後半頃からは、だ
ん少なくなりました。
たのが残念でした。
たのが最近、市内に新
たにできたコミュニティ
イデの夏祭りなどが各
地で開催され、新聞紙
面を賑わせています
が、北上でも、お盆に
住民主催の夏祭りが開
催されました。住民手
作りのとて、アットホ
ームなお祭りで、昭和
の芸能大会を感じさせ
る、懐かしいイベント
でした。どの地区でも、
こういったイベントを
住民参加型のまま無理
せず継続し、コミュニ
ティの輪が深まればい
いなと思います。
(北上十三浜 青山)

風の中の すばる② 牡鹿半島 食堂いぶき

石巻で新たなチャレンジをする人々や彼らがつくる「場」を紹介する「風の中のすばる」。

第2回目は大原浜にオープンした「牡鹿半島食堂いぶき」です。

今年4月、牡鹿半島大原浜に1軒の食堂がオープンしました。「牡鹿半島 食堂いぶき」。被災した築約80年の古民家を改修したお店には、たくさんの人の汗と想いとアイディアが詰まっています。

11年5月大原浜に入ったのがきっかけで、古民家と出会います。「中越で古民家を再生していた経験のある仲間が見つけて」「このままだと取り壊される。何とか残したい」と。同じころ、『被災地に飲食店をつくり、地域にプレゼントしたい』という仲間もいました。2つを合わせたのが『古民家再生IBUKIプロジェクト』。私はたまたま1回目の話し合いに居合わせたのですが、その場で関わることを決めました。12年4月、堀越さんは東京の仕事を退職し、石巻に移住。牡鹿地区の復興応援隊として働きながら、古民家再生の準備を進めてきました。「災害危険区域に立つ、津波で被災した築80年の古民家再生なんて誰もやったことがない。仲間がいなければ乗り越えられなかったと思います。丸4年かけた改修工事には、全国のボランティア仲間が参加。ドアや

壁に津波の廃材を使ったり、自然由来の塗料を使ったりと、随所に工夫とこだわりが散りばめられています。そして17年4月、生まれ変わった古民家は「牡鹿半島 食堂いぶき」としてオープン。大きなホタテがどーんと乗った「超ほたて丼(1650円)」や旨味を濃縮した牡蠣がたっぷり入った「かきハンバーグ定食(1280円)」など、地元食材を使ったメニューが並びます。

「地元の方にも県外の方にも『牡鹿にいぶきがあつて良かった』と思ってもらえるような場所にしていきたい」。いぶきはこれからも、牡鹿の海と共に歩み続けます。

壁に津波の廃材を使ったり、自然由来の塗料を使ったりと、随所に工夫とこだわりが散りばめられています。そして17年4月、生まれ変わった古民家は「牡鹿半島 食堂いぶき」としてオープン。大きなホタテがどーんと乗った「超ほたて丼(1650円)」や旨味を濃縮した牡蠣がたっぷり入った「かきハンバーグ定食(1280円)」など、地元食材を使ったメニューが並びます。「地元の方にも県外の方にも『牡鹿にいぶきがあつて良かった』と思ってもらえるような場所にしていきたい」。いぶきはこれからも、牡鹿の海と共に歩み続けます。

牡鹿半島 食堂いぶき

【所在地】大原浜守町18-1(大原小近く)

【TEL】0225-2517282

【営業時間】火～金 11時30分～20時 / 土 11時～20時 / 日 11時～16時

【定休日】月曜日

牡鹿の過去・現在・未来を語ろう～
牡鹿半島～これがらの居場所～

牡鹿の過去・現在・未来を語ろう～
牡鹿半島～これがらの居場所～

そして「夕陽」があります。牡鹿半島は宮城県の東端にあつて、リアス式海岸の入り組んだ地形に数多くの浜があり、金華山などの島々に囲まれています。小淵浜は、半島ならではの地形から、海を挟んだ対岸に石巻市内、松島仙台、蔵王が望め、空気の澄んだ冬には連なる雪山がくっきり見えます。中でも一番見てほしいのが、春から秋にかけての夕陽です。空気がかすみ、低い雲が山々にかかり、地平線なのに水平線のように見える光景は、太平洋側でありながら日本海のようにも感じられます。小さい頃から当たり前にある風景でしたが、それを特別と思えるようになったのは、民宿の仕事を始め、お客様が口々に、「きれいな夕陽ですね」と感動されながら話してくれるのです。そんな夕陽を気にするようになり、カメラを構えていくと、日々変わっていく太陽の位置や色あい、気づきました。夕陽なるも、もうハマります。今までは夕陽の特別な夕陽は「牡鹿」でした。最近では遠く離れた人にも知ってもらいたいと、SNSでも発信しています。いつか泊まりたい「また見に行きます」が日々の原動力になっています。割烹民宿めぐろは3年前、震災の影響もあつて、大規模な改装をしました。その際に、夕陽をアピールポイントにしようとした。エントランスや各部屋に大きな窓を設置しました。口ゴも夕陽をイメージして一新するなど、惚れ込んでいます。

最近、牡鹿半島に移住してきたアーティストが従業員として働いてくれるようになり、それを機に「HOYA PAI女将」がめぐろ新名物に加わりました。こちらは、また別な機会に(笑)。「名物料理」「小淵浜の夕陽」「新名物HOYA PAI女将」と三拍子そろった民宿のある牡鹿半島へ、ぜひお越しください！

めぐろ・しげあき/割烹民宿めぐろの2代目。牡鹿半島癒しの旅実委員会。浜へ行くぞ！実委副会長。牡鹿稲井商工会青年部長。裏ボーンアートフェスティバル主宰。

◆ボランティア募集

石巻復興きずな新聞舎では、継続的に活動を支えてくださる市民ボランティアを随時募集しています。活動内容は記事執筆、新聞配布、新聞印刷、データ入力など。月1日～参加可。月3日以上活動できる方には、交通費補助もあります。

◆賛助会員募集

私たちの活動を積極的にご支援いただける個人・企業・団体を募集しています。

<会員種別>

- 個人会員（新聞購読あり）
5,000 円/年×1口以上
- 個人会員（新聞購読なし）
3,000 円/年×1口以上
- 団体会員
10,000 円/年×1口以上

<お申込み方法>

電話（090-6686-8317）にて、ご連絡ください。後日、申込用紙をお届けします。

◎ゆうちょ銀行

818店 普通 3864748
石巻復興きずな新聞舎

◎郵便振替

02220-0-141408
石巻復興きずな新聞舎

◆ご支援ありがとうございます

◎天野聡子様（愛知県安西市）



若者にバトンを託す

実施される支援活動を振り返り、できる限り次に生かしたい。そんなことを考えながら、大学院の

り、大学院の通学を決めた。大学院の研究の一貫としてこの数カ月、仮設住宅に住まわれたみなさんに、「仮設きずな新聞」ボランティアとの関わりについてお話を伺ってきました。印象的だったのが、多くのみなさんが出会ったボランティアを子や孫のよ

うに思い、「今の若者は捨てたものじゃない」と未来への可能性についてお話をされたこと。そして、ボランティアもみなさんから多くのものを受け取り、「かえって、元気をもらった」などの感想が聞かれた。お互いに影響し合い、経済的には計れない価値が生まれたのではないかと思う。

あるご婦人らが、「東日本大震災以降にも日本各地で災害が起こっている、直接現地へ行くことはできないかもしれないけれど、私たちにも、何かできることはないのか？ 恩返しをしたい思いは常にある」と話された。そこで思わず、「現地へ活動する若者たちを応援してほしい」と言葉が出た。若者たちは、何か支えになりたいと被災地に向かいそれを実行する。一方で、被災されたみなさんとの関わりから、新しい価値感を自身のな

（ピースポート 深吾）

災害支援団体（一例）

- ◎OPEN JAPAN
- ◎国際ボランティア学生協会 (IVUSA)
- ◎日本財団学生ボランティアセンター (Gakuvo)
- ◎ピースポート災害ボランティアセンター(PBV)

編集後記

震災から6年5か月の月命日を迎えた8月11日、南浜地区で追悼行事「ココロの灯り」が開催されました。主催したのは石巻商工会議所青年部。朝から約1000個の灯籠を作り、並べる作業を、私もお手伝いさせていただきました。夕方から灯籠に点火し、夜にはLEDで光るスカイランタンを空に飛ばす予定でしたが、空はあいにくの雨模様…。ろうそくの火はなかなか点かないし、ランタンも濡れた重みで思うようには飛ばしません。何か月も前から準備してきた青年部の皆さんはさぞ残念だろうと思いましたが、実行委員長の高橋さんは「百点満点」とおっしゃいました。「この追悼行事を100年続く伝統にしたい。今日はその第一歩。まずは自分たちの力でやりきったことを自信にして、来年につなげたい」苦勞して点火した灯籠は、雨に濡れた地面に反射して、より一層輝いていました。（編集長 あき）

■石巻復興きずな新聞とは… 2011年10月～2016年3月まで、ピースポート災害ボランティアセンターが石巻市内の仮設住宅向けに発行・配布してきた無料情報紙「仮設きずな新聞」の後継紙。「最後のひとりが仮設住宅を出るまで」を目標に、2016年6月創刊。市内全仮設住宅および市街地の復興公営住宅に無料で配布。毎月10日、約6000部発行。

■石巻復興きずな新聞は以下の場所でも手に入ります。
I R O R I 石巻/雄勝店こ屋商店街/おしかのれん街/開成の拠り所・あがらいん/かめ七呉服店/からころステーション/川の上・百俵館/新蛇田第一集会所/道の駅「上品の郷」

■石巻復興きずな新聞舎
〒986-0813 石巻市駅前北通り1-5-3 TEL:090-6686-8317
kasetzukizuna@gmail.com / www.kizuna-shinbun.org

- 発行元 石巻復興きずな新聞舎
- 編集長 岩元暁子
- 副編集長 川口 稔
- デザイン 矢野瑛子/妙本咲季
- 記事執筆 青山英幸/小林深吾/高柳伸康
目黒繁明
- 協力 石巻専修大学関根ゼミ/石巻NOTE/川の上・百俵館/サードステージ/震災こころのケア・ネットワークみやぎ/包括ケアセンター/ピースポート災害ボランティアセンター/ゆいいきる/街づくりまんぼう/民宿めぐろ
- 助成・協賛 宮城県「みやぎ地域復興支援助成金」、ラッシュジャパン「チャリティバンク助成金」